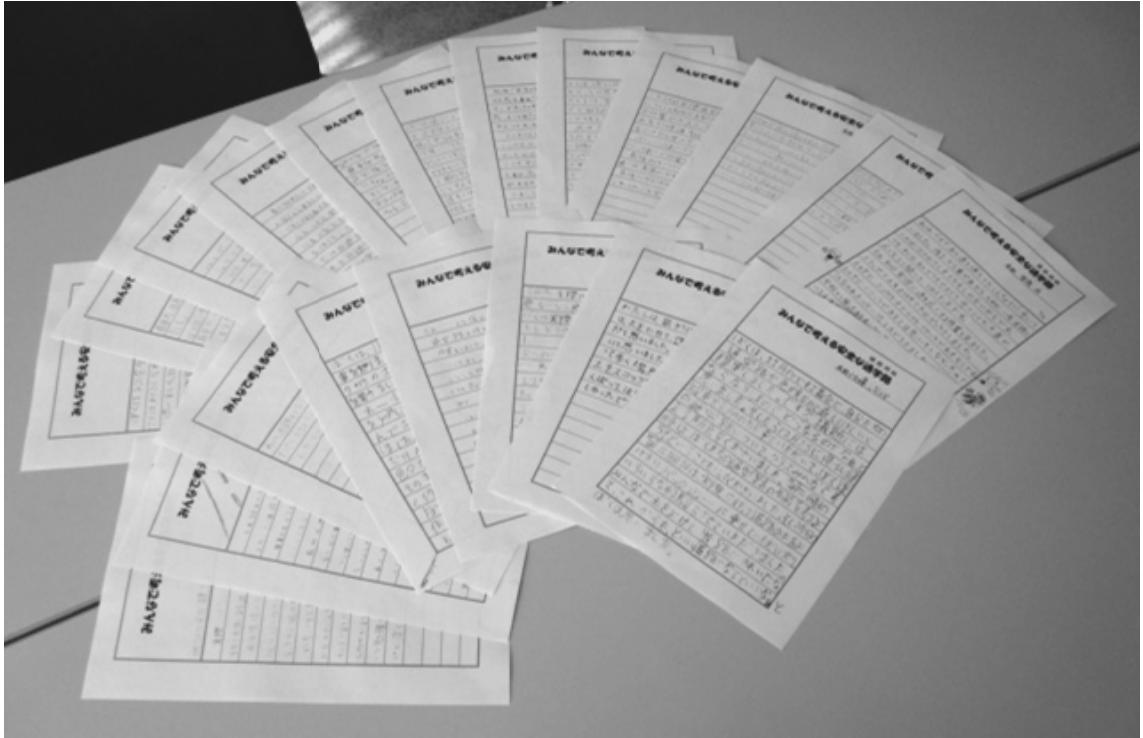


みんなで考える安全な通学路



《大久保小学校6年生全員の感想文：きれいなイラスト入りもあります》

平成21年1月28日に、福島市立大久保小学校の6年生20人全員が、通学路の改善に挑戦しました。

教室で話しあったこと、現地でスコップを手に土砂を片づけたことでの苦労や新しい発見とともに、これからの願いや大人へのメッセージを感想文という形で、20人の生の声を届けてくれました。できるかぎり忠実に紹介します。

- ① 初めて通学路の名前や作業をしてみてとても楽しかったです。ダンプカーやバックホウでどかしたりしているのを仕事でやっているのかと知りおどろきました。かん板を立ててこれから車が横断歩道の前で止まってくれるといいなと思いました。こういう事はあまりできないのでとても楽しかったです。
- ② 1月28日実際通学路に行きました。土砂のてっ去をしました。スコップを使い道の横にある土をどけ道を少し広げました。作業は思ったよりつらくて疲れました。最後にかんばんを置く場所を決めました。これらのことで安全な通学路になればいいと思います。
- ③ 1月28日にやった道路の土砂取り作業は、大変でした。草の根っこがいっぱい絡まってスコップで取るのが難しかったし、疲れました。次は機械でやっているところを見に行きました。機械の名前はショベルカーではなくバックホウと知って、いつも使っている名前とはちがってびっくりしました。看板をつけたら車を運転している人は、歩いている人に気をつけて運転してほしいと思います。
- ④ 「安全のためにゆずりあう通学路」にみんなで行って「やっぱりせまいなあ」と思いました。そのあとみんなで土砂のてっきよをして「こんなに広がったんだなあ」と思いました。少しつらかったけどとてもうれしかったです。「ショベル」としか思っていなかった機械の本当の名前が「バックホウ」と言うのはとてもおどろきました。この機械で土砂のてっきよを早くやってくれていると思ったら、とてもすごいなあと思いました。
- ⑤ みんなでほった（土砂てっきよ）のときは全然進まなかったのに、バックホウではとても速く進めていたのでおどろいた。自分達でやったときは、スコップがたまに地面につかかって、大変だったし、こしが痛くなった。
- ⑥ 長ぐつと手ぶくろとヘルメットをかぶり工事現場に行く人はどんな事しているのかまったく分かりませんでした。でもこの計画を立ててから興味をもって見るようになり、安全性を考えて作ってもらっていることをとてもありがたく思いました。ただ毎日学校まで通っていただけの道だったのにそれを知ってから私たちを危険から守り安全に学校まで導いてくれる道なのだなと思いました。とても感謝する気持ちになりました。

- ⑦ 通学路作りで一番疲れたのがスコップで土をほることです。土をほるときにいろんな根っこがじゃましてうまく土がとれませんでした。作業をしているときにテレビ局の TUF、NHK の人たちが来ていたので、すごくきんちょうしました。看板をどこに立てるかで迷いました。立てるところは田んぼの先の方に決まりました。今まで建設事務所の方々と話し合っ来てここまできたのでとてもうれしかったです。
- ⑧ 土を取っていたときはすごく大変でした。草の根っこは、道のところに入っていて取るのがすごく大変で、手で取りました。工事のことをいろいろ教えてもらいました。ほった土をどこに持っていくのか道路の土をどかすのにかかる費用などいろいろなことを教えてもらいました。
- ⑨ 貴重な体験をさてもらいありがとうございました。最初に授業をやった時は、どんな事をやっているのかわかりませんでした。でも実際にやってみて少しわかりました。「こんなに、たいへんな事をやっているのか。」と思いました。実際にやってみて、ぼくは道路がこんなに広いとは、思いませんでした。今回の事が道路を使う人たちの気づきになればいいなと思いました。
- ⑩ ぼくは、バックホウにのってよくこんなせまい所で作業ができるなあと思いました。スコップで道路につもった土をほる作業をやりました。草の根っこなどからみついでいてなかなかほりにくかったけど少しだけ道路が広がったです。建設事務所の人たちが作ってきた〈サンプル〉をたてる所を探して歩き回ってやっと見つけてよかったと思います。これで道路が広がったからよかったと思いました。
- ⑪ 私は、今まで、あの道を通るとき、しんちょうに歩いていました。後ろから車が来たり、それに、一步道路に入れば、ひかれてしまうかもしれないからです。でも、私は、あのとてもせまくて、歩きにくかった道が、広くなると聞いて、うれしかったです。今日、私は実際に道を広くする作業を見ました。スコップで土をよけたときは、ビックリしました。土の下に、コンクリートでできたブロックがあったからです。土の下にブロックがあるとは思いませんでしたので、「こんなあったのか〜!!!」とおどろきました。学校から帰ったあとも、少し見たのですが、作業をしている人たちは、すごく大変そうでした。でも、道は、とてもきれいになっていて、広がっていました。これは、感謝しなければいけないなあと思いました。道を作るために、協力してくれたみなさん、本当にありがとうございます!!そして、これからも、よろしく願います!!

- ⑫ 11月のこども議会で、自分たちの通学路が危険なので直してほしいと提案しました。ですが、議題にはならなかったのでどうなるのかなあ、と思いました。そしたら12月ころに県北建設事務所の方に来ていただいて、ぼく達の通学路について、クラスみんなで考える機会をくださいました。第二回目の時は、ぼくたちの通学路の名前をかんがえよう！！ということもいってくださいました。そして今回の第三回目は、実際に行って道路の土をよけたり、バックホウに乗せていただいたり、いろいろな経験をさせていただきました。みんなで土をよけて道路がきれいになって、これからもっといい道路になるといいなあとぼくは思いました。
- ⑬ 最初に、トラックを見ました。トラックは、土をのせて、運ぶのは、少し重そうで、大変だと思いました。でも、がんばっているのは、すごいと思いました。土をスコップで、ほって歩く場所を広くしたら、もっとらくになりました。土をスコップでほるのは、大変だったけど、がんばってほりました。大変だったけど楽しかったです。
- ⑭ 実際現場に行ってみて、改めて危ないなと感じました。実際に自分の手で土をどかしてみたらいがいが大変でした。ぼくは、実際に手でやるより機械でやったほうが楽だなと思いました。これからは、安全に車の人も気をつけながら通ってほしいなとぼくは、思いました。
- ⑮ 今日、大久保のバイパスに行って安全な通学路を作るために、道はばを広くする作業をしました。おもしろかったけど、とても大変でした。人が道はばを広くすることが、大変だということを実感しました。最後に看板を立てる場所を決めました。少しでも看板を見て運転者がスピードを出さないでほしいなと思います。
- ⑯ 1月28日にぼくは、いろいろな事を知りました。道路のわきの土をどうやって取り除くのかを聞きました。バックホウで土を取ってトラックに土を移してトラックは、別な所に土を運んでおいてくると言う事を聞いたりしました。自分たちで土を取り除く作業をスコップでやりました。土を取り除く作業でいろいろな事を学べて良かったです。また機会があったらそういう事をやりたいです。
- ⑰ 私は、道路工事している所を見た時はあるけど、実際に工事をするので、とてもドキドキしました。やってみて良かったなーと思ったことがあります。「バックホウに乗ってみましょう」と言われた時は心臓がどっきんどっきんでした。〈中が〉せまいかなと思ったし、目の前が見えなかったので、操作するのに、十分、なれないと、うまく出来ないことを知りました。貴重な体験だったので良かったと思います。これで安全に歩けると思います。《次頁へ》

- ⑱ 1月28日県北事務所の人たちと、道路を少し広くしました！ほるのは、とても大変でした！でも、せっかくだから、自分の力をふりしぼって頑張りました。最初とても大変でした。なかなかほれなくて、お兄さんたち〈おじさんたち〉に少しほってもらいました。そしたら、少し手まどったけど、「さっきよりかるくなった！」と思いました。前みんなで考えた看板の文字を、決めるのは、とても大変でした。でも、お兄さん〈おじさん〉たちも、「運転する人も歩く人の気持ちも少しは分かってくれるかな？」と話していました。〈私は、看板を立てた場所が運転する人にもよく見えるところですよ良かったです。〉
- ⑲ 1月28日県北建設事務所の人との第三回目の話し合いをし、実際にその現場に行きました。現場に行って思った事は本当に歩道がないんだなあと思いました。スコップで土をほった時、手前の方の土がとってもおくの土よりもかたかったです。そう思ってたら、部長さんが手前の方は通った人にふまれてるから、かたいんだよって教えてくれました。一日の作業に25万円かかるというのにもびっくりしました。社会科としても勉強になったなあと思いました。とっても大変だったけど、楽しい思い出になりました。
- ⑳ 道路工事体験でいろいろやったことでスコップを使って土をほってつかれました。看板のことだけと思いつきませんでした。学校にもどるとき工事道具のことを教えてもらいました。安全な道路ができてよかったです。